

平成31年度 名古屋大学大学院 工学研究科博士後期課程学生募集要項

平成31年度本研究科博士後期課程に進学又は入学させる学生を下記により募集する。

A 一般選抜

1 出願資格

次の各項目のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - 一 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - 二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(注) 10頁の「出願資格(7)により出願する者について」を参照すること。
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月末日までに24歳に達する者
(注) 11頁の「出願資格(8)により出願する者について」を参照すること。

2 募集人員

(募集人員は、各専攻とも社会人特別選抜による募集人員若干名を含む)

専攻	募集人員
有機・高分子化学	8
応用物質化学	8
生命分子工学	6
応用物理	9
物質科	9
材料デザイン工学	8
物質プロセス工学	9
化学システム工学	8
電気工学	9
電子工学	13
情報・通信工学	8
機械システム工学	14
マイクロ・ナノ機械理工学	8
航空宇宙工学	8
エネルギー理工学	5
総合エネルギー工学	4
土木工学	9

3 願書受付期間

平成30年7月9日（月）から7月12日（木）

受付時間は、9時から16時。

4 出願書類等

	出願書類等	注意事項
①	進学・入学志願票, 受験票, 写真票	本冊子とじ込みの用紙に必要事項を記入の上, 写真票に写真(3か月以内に撮影したもの)を貼ること。 受験票は, 受付の際に交付する。(ただし, 出願書類を郵送した者には, 郵送で本人に交付する。)
②	学業成績証明書	学部及び修士課程(博士前期課程)におけるもの。 日本語又は英語以外で作成されている場合は, 日本語又は英語の訳文を添付すること。 本学工学部出身者は, 学部の学業成績証明書は提出不要。 本学工学研究科出身者及び出願資格(7)により出願する者は, 修士課程(博士前期課程)の学業成績証明書は提出不要。 出願資格(8)により出願する者は, 提出不要。
③	修士の学位又は専門職学位を授与された者(又は見込み)であることの証明書	日本語又は英語以外で作成されている場合は, 日本語又は英語の訳文を添付すること。 本学工学研究科出身者は提出不要。 出願資格(7)又は(8)により出願する者は, 提出不要。
④	修士論文の概要 又は 研究経過の概要	修士の学位又は専門職学位を有する者は, 修士論文の概要を提出すること。 平成31年3月末日までに修士の学位又は専門職学位を有する見込みの者は, 研究経過の概要を提出すること。 *本冊子とじ込みの用紙で, 2,000字程度。(パソコンで作成する場合は, とじ込

		み用紙の様式にならい1行40字程度で作成すること。 出願資格(7)又は(8)により出願する者は、提出不要。
⑤	TOEFL 又は TOEIC のスコアシート	外国語（英語）の試験で TOEFL/TOEIC のスコアによる判定（筆記試験との併用を含む）を行う専攻は、 有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻、応用物理学専攻、物質科学専攻、材料デザイン工学専攻、物質プロセス工学専攻、化学システム工学専攻、電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻、土木工学専攻である。 <u>該当する専攻の出願者は、予定指導教員あるいは志望専攻事務室に照会の上、提出書類の詳細を確認すること。</u> (上記に該当しない専攻は提出不要。) 【TOEFL のスコアシートについて】 TOEFL は、公式スコア「Official Score Report」と受験者に届く「Test Taker (Examinee) Score Report (コピー)」の両方が必要になるので以下の点に留意すること。 ①「Official Score Report」は、出願期間最終日までに ETS から名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。(手続き時に名古屋大学の Institution Code 0312, Department Code を適切に指定すること。) ②出願書類提出時に「Test Taker (Examinee) Score Report」のコピーを提出すること。また、試験期間中この原本を必ず携帯すること。
⑥	入学検定料 30,000 円の郵便局の 普通為替	出願前に、郵便局において 30,000 円の普通為替を作成し、為替には <u>一切記入しないこと。</u> 既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。 <u>本学大学院研究科博士前期課程（修士課程）を修了し、引き続き本課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学検定料は不要。</u> なお、他大学大学院から受験する国費外国人留学生は、「国費外国人留学生証明書」を提出すること。
⑦	領収証書及び同（控）	本冊子とじ込みの用紙に氏名のみ記入すること。
⑧	受験票送付用封筒	出願書類を郵送する者のみ提出すること。 本冊子とじ込みの封筒に、郵便番号・住所（日本国内）、氏名を記入し、82 円分の切手を貼ること。
⑨	合否通知用封筒	本冊子とじ込みの封筒に、郵便番号・住所（日本国内）、氏名を記入すること。
⑩	入学手続通知用封筒	本冊子とじ込みの封筒に、郵便番号・住所（日本国内）、氏名を記入すること。
⑪	(外国人のみ) 「在留カード」の両 面コピー又は「住民 票の写し」(原本)	「住民票の写し」は在留資格、在留期間の記載されたもの（発行申請時に申し出が必要）。海外在住者においては、パスポートのコピー（顔写真のある頁）を提出し、入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。

5 出 願 手 続

出願者は、上記出願書類等を願書受付期間に工学研究科教務課（IB 電子情報館西棟 2 階）に提出のこと。

出願書類を郵送する場合は、書留郵便とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書し、平成30年7月12日（木）16時必着で工学研究科教務課宛に送付のこと。（締切後に到着したものは受け付けない。）

〔受付場所（郵送先）〕

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

- ◎注意 (1) 志願者は出願前に志望指導教員あるいは志望専攻事務室に事前照会すること。
(2) 書類に不備がある場合には、受け付けないことがある。
(3) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。
(4) 出願書類について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
(5) 出願に際して不明な点は、5頁9(5)の照会先まで問い合わせること。

6 選抜実施方法及び試験日程

(1) 学力検査 (8月21日 (火) 外国語 (英語), 8月21日 (火)～8月24日 (金) 基礎部門, 専門部門, 口頭試問)

① 方法: 筆記試験・口頭試問又はいずれか一方により行う。

筆記試験の科目は, 外国語 (英語), 基礎部門, 専門部門とする。

口頭試問において外国語 (英語) の学力を審査することもある。その場合, 詳細は各専攻から出願者に別途通知する。

② 外国語 (英語) の筆記試験の日時・場所

日時: 平成30年8月21日 (火) 10時～12時

場所: 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院 工学研究科

1) 試験においては, 辞書の使用は認めない。

2) TOEFL/TOEIC のスコアによる判定を行う専攻の試験に関する詳細は, 「専攻案内」あるいは「受験に際しての注意事項」を参照すること。また, 予定指導教員あるいは志望専攻事務室に確認すること。

③ 基礎部門, 専門部門, 口頭試問の試験の日時・場所

日時: 平成30年8月21日 (火) 13時30分～8月24日 (金) 17時

場所: 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院 工学研究科

④ その他: 選考に関する詳細は, 各専攻から別途出願者に通知する。

⑤ 合格者発表

平成30年9月7日 (金) 正午 (各専攻とも本研究科教務課前掲示板に掲示するとともに合否結果を本人宛に発送する)

7 入学手続

入学手続に関する詳細については, 平成31年3月上旬に通知する。

① 手続日: 平成31年3月下旬

② 場所: 名古屋大学大学院工学研究科教務課 (IB 電子情報館西棟2階)

8 授業料等学生納付金

(1) 入学料 282,000円 [予定額]

入学手続時に納付すること。

ただし, 本学大学院博士前期課程 (修士課程) を修了し, 引き続き本課程に進学する者及び国費外国人留学生は, 入学料を要しない。

(2) 授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]

授業料は, 前期及び後期の2期に分けて納入する。また, 納付については, 授業料口座振替 (代行納付制度) により取り扱う。

ただし, 国費外国人留学生は, 授業料を要しない。

(注) 入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は, 改定時から新たな学生納付金額が適用される。

9 その他注意事項

(1) 官公署, 民間企業等に勤務している者で, 入学後も引き続きその身分を有する者は, 一般選抜ではなく, 社会人特別選抜に出願すること。

(2) 障害がある者等で, 受験上特別な配慮を必要とする者は, 平成30年5月23日 (水) までに, 5頁(5)の照会先まで申し出ること。

なお, 修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。

(3) 大学院入学案内冊子「工学研究科への道」及び志望専攻の「専攻案内」の郵便を希望するものは, 宛名を明記し, 切手 (215円) を貼った返信用封筒 (角形2号) を同封し, 志望専攻名及び連絡先電話番号を明記して郵送にて請求すること。

(4) 本研究科は平成29年度に改組したので, 関連する改組前の専攻 (分野) の試験問題の請求については, 本研究科ホームページを参照又は各専攻事務室に照会すること。

各専攻事務室の連絡先

専攻	電話	FAX	Eメールアドレス	場所	巻末のキャンパス マップ建物番号
有機・高分子化学 応用物質化学 生命分子工学	052-789-4276 052-789-2660	052-789-3180	jimu@chembio.nagoya-u.ac.jp	工学研究科(工) 1号館2F	①
応用物理学 物質科学	052-789-4469 052-789-3562	052-789-3724	office@ap.pse.nagoya-u.ac.jp office@mp.pse.nagoya-u.ac.jp	(工)3号館中館 2F	③
材料デザイン工学 物質プロセス工学 化学システム工学	052-789-2761	052-789-3225	jimu@numse.nagoya-u.ac.jp	(工)5号館2F	⑤
電気工学 電子工学 情報・通信工学	052-789-3643	052-789-3134	jimu@nuee.nagoya-u.ac.jp	IB電子情報館 北棟1F	④
機械システム工学 マイクロ・ナノ機械理工学 航空宇宙工学	052-789-3301	052-789-3111	mech@mech.nagoya-u.ac.jp micro@mech.nagoya-u.ac.jp kokujimu@nuae.nagoya-u.ac.jp	(工)2号館中館 3F	②
エネルギー理工学 総合エネルギー工学	052-789-3399	052-789-3225	qjuken@energy.nagoya-u.ac.jp	(工)5号館2F	⑤
土木工学	052-789-3735	052-789-3736	jimu@civil.nagoya-u.ac.jp	(工)8号館北棟1F	⑥

(5) 入学試験に関する照会先

名古屋大学大学院工学研究科教務課 (IB 電子情報館西棟 2 階)

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

電話 (052) (789) 3978・3974 e-mail:eng-admission@adm.nagoya-u.ac.jp

(6) 災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページにより周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

工学研究科ホームページ

URL <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

携帯電話用 <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/cellular/bb/>



(携帯用)

10 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

B 社会人特別選抜

1 出願資格

官公署，民間企業等に勤務している研究者・技術者等で，所属長の承諾を得て，入学後も引き続きその身分を有する者で，次の各項目のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校，上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

一 大学を卒業し，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(注) 10頁の「出願資格(7)により出願する者について」を参照すること。

- (8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で，平成31年3月末日までに24歳に達する者

(注) 11頁の「出願資格(8)により出願する者について」を参照すること。

2 募集人員

専 攻	募 集 人 員
有機・高分子化学	若干名
応用物質化学	若干名
生命分子工学	若干名
応用物理学	若干名
物質科学	若干名
材料デザイン工学	若干名
物質プロセス工学	若干名
化学システム工学	若干名
電気工学	若干名
電子工学	若干名
情報・通信工学	若干名
機械システム工学	若干名
マイクロ・ナノ機械理工学	若干名

航 空 宇 宙 工 学	若 干 名
エ ネ ル ギ ー 理 工 学	若 干 名
総 合 エ ネ ル ギ ー 工 学	若 干 名
土 木 工 学	若 干 名

3 願書受付期間

平成30年7月9日（月）から7月12日（木）

受付時間は、9時から16時。

4 出願書類等

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	進学・入学志願票, 受験票, 写真票	本冊子とじ込みの用紙に必要事項を記入の上, 写真票に写真（3か月以内に撮影したもの）を貼ること。 受験票は, 受付の際に交付する。（ただし, 出願書類を郵送した者には, 郵送で本人に交付する。）
②	学業成績証明書	学部及び修士課程（博士前期課程）におけるもの。 日本語又は英語以外で作成されている場合は, 日本語又は英語の訳文を添付すること。 本学工学部出身者は, 学部の学業成績証明書は提出不要。 本学工学研究科出身者及び出願資格(7)により出願する者は, 修士課程（博士前期課程）の学業成績証明書は提出不要。 出願資格(8)により出願する者は, 提出不要。
③	修士の学位又は専門 職学位を授与された 者（又は見込み）で あることの証明書	日本語又は英語以外で作成されている場合は, 日本語又は英語の訳文を添付すること。 本学工学研究科出身者は提出不要。 出願資格(7)又は(8)により出願する者は, 提出不要。
④	修士論文の概要 又は 研究経過の概要	修士の学位又は専門職学位を有する者は, 修士論文の概要を提出すること。 平成31年3月末日までに修士の学位又は専門職学位を有する見込みの者は, 研究経過の概要を提出すること。 *本冊子とじ込みの用紙で, 2,000字程度。（パソコンで作成する場合は, とじ込み用紙の様式にならぬ1行40字程度で作成すること。） 出願資格(7)又は(8)により出願する者は, 提出不要。
⑤	受験承諾書	本冊子とじ込みの用紙に所属の長等が証明したもの。
⑥	研究計画書	官公署在職者のみ提出すること。 本冊子とじ込みの用紙により作成すること。
⑦	入学後学業に専念さ せる旨の所属長の承 諾書	官公署在職者のみ提出すること。 様式随意。
⑧	TOEFL又はTOEIC のスコアシート	外国語（英語）の試験でTOEFL/TOEICのスコアによる判定（筆記試験との併用を含む）を行う専攻は, 有機・高分子化学専攻, 応用物質化学専攻, 生命分子工学専攻, 応用物理学専攻, 物質科学専攻, 材料デザイン工学専攻, 物質プロセス工学専攻, 化学システム工学 専攻, 電気工学専攻, 電子工学専攻, 情報・通信工学専攻, 土木工学専攻である。 <u>該当する専攻の出願者は, 予定指導教員あるいは志望専攻事務室に照会の上, 提出 書類の詳細を確認すること。</u> （上記に該当しない専攻は提出不要。） 【TOEFLのスコアシートについて】

		TOEFLは、公式スコア「Official Score Report」と受験者に届く「Test Taker (Examinee) Score Report (コピー)」の両方が必要になるので以下の点に留意すること。 ①「Official Score Report」は、出願期間最終日までにETSから名古屋大学に届くように所定の手続きをすること。(手続き時に名古屋大学のInstitution Code 0312, Department Codeを適切に指定すること。) ②出願書類提出時に「Test Taker (Examinee) Score Report」のコピーを提出すること。また、試験期間中この原本を必ず携帯すること。
⑨	入学検定料 30,000円の郵便局の普通為替	出願前に、郵便局において30,000円の普通為替を作成し、為替には一切記入しないこと。 既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
⑩	領収証書及び同(控)	本冊子とじ込みの用紙に氏名のみ記入すること。
⑪	受験票送付用封筒	出願書類を郵送する者のみ提出すること。 本冊子とじ込みの封筒に、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入し、82円分の切手を貼ること。
⑫	合否通知用封筒	本冊子とじ込みの封筒に、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入すること。
⑬	入学手続通知用封筒	本冊子とじ込みの封筒に、郵便番号・住所(日本国内)、氏名を記入すること。
⑭	(外国人のみ) 「在留カード」の両面コピー又は「住民票の写し」(原本)	「住民票の写し」は在留資格、在留期間の記載されたもの(発行申請時に申し出が必要)。海外在住者においては、パスポートのコピー(顔写真のある頁)を提出し、入学手続時に必ず左記のうちいずれかを提出すること。

5 出願手続

出願者は、上記出願書類等を願書受付期間に工学研究科教務課(IB電子情報館西棟2階)に提出のこと。

出願書類を郵送する場合は、書留郵便とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書し、平成30年7月12日(木)16時必着で工学研究科教務課宛に送付のこと。(締切後に到着したものは受け付けない。)

〔受付場所(郵送先)〕

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院工学研究科教務課入学試験係

- ◎注意
- (1) 志願者は出願前に志望指導教員あるいは志望専攻事務室に事前照会すること。
 - (2) 書類に不備がある場合には、受け付けないことがある。
 - (3) 出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び返却は認めない。
 - (4) 出願書類について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
 - (5) 出願に際して不明な点は、9頁9(4)の照会先まで問い合わせること。

※ 下記6～8の項については、4頁以降の一般選抜の募集と同様である。

6 選抜実施方法及び試験日程

7 入学手続

8 授業料等学生納付金

9 その他注意事項

(1) 障害がある者等で、受験上特別な配慮を必要とする者は、平成30年5月23日(水)までに、下記(4)の照会先まで申し出ること。

なお、修学上特別な配慮を必要とする者も同様に申し出ること。

(2) 大学院入学案内冊子「工学研究科への道」及び志望専攻の「専攻案内」の郵送を希望する者は、宛名を明記し、切手(215円)を貼った返信用封筒(角形2号)を同封し、志望専攻名及び連絡先電話番号を明記して郵送にて請求すること。

(3) 本研究科は平成29年度に改組したので、関連する改組前の専攻(分野)の試験問題の請求については、本研究科ホームページを参照又は各専攻事務室に照会すること。各専攻事務室の連絡先は、4頁9(4)を参照すること。

(4) 入学試験に関する照会先

名古屋大学大学院工学研究科教務課 (IB 電子情報館西棟2階)

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

電話 (052) (789) 3978・3974 e-mail:eng-admission@adm.nagoya-u.ac.jp

(5) 災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページにより周知するので、出願前や受験前は特に注意すること。

工学研究科ホームページ

URL <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp>

携帯電話用 <http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/cellular/bb/>



(携帯用)

10 個人情報の取り扱い

住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、入学選抜、合格発表、入学手続及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しない。

出願資格(7)により出願する者について

「文部科学大臣の指定した者」

1) 出願資格(7)により出願する者は、次の①又は②の要件を満たす者であること。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び平成31年3月末日までに2年以上従事する見込みの者で、学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

2) 事前照会（審査）

出願資格(7)により出願する者については、あらかじめ次の書類を平成30年6月20日（水）必着で、工学研究科教務課〔5頁の9(5)照会先を参照）へ提出又は郵送（書留郵便で封筒の表に「博士後期課程事前審査申請」と朱書）し、出願資格の有無について事前照会すること。

本研究科で事前審査を実施し、その結果は平成30年6月28日（木）に本人宛に発送する。

- ① 出願資格(7)による出願資格事前審査願（本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載・捺印）
- ② 大学卒業証明書
- ③ 研究歴証明書（本冊子とじ込みの用紙に、所属の長等が証明したもの）
- ④ 推薦書（本冊子とじ込みの用紙に、所属の長等が証明したもの）
- ⑤ 研究実績調書（本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載）
- ⑥ 研究成果報告書（本冊子とじ込みの用紙に、本人が4,000字程度で作成、論文形式とする）
- ⑦ 学術論文、著書、研究発表、特許等の写しの添付

3) 出願書類

上記事前審査の結果、出願資格有と判定された者の願書受付期間及び出願書類等は、一般選抜に出願する者は2頁3及び4を、社会人特別選抜に出願する者は7頁3及び4を参照すること。

出願資格(8)により出願する者について

1) 出願資格(8)により出願する者は、次の①及び②の要件を満たす者であること。

- ① 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月末日までに24歳に達する者であること。
- ② 学術論文、著書、研究発表、特許等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

2) 個別審査

出願資格(8)により出願する者については、あらかじめ次の書類を平成30年6月20日(水)必着で、工学研究科教務課〔5頁の9(5)照会先を参照)へ提出又は郵送(書留郵便で封筒の表に「博士後期課程個別審査申請」と朱書)し、出願資格の有無についての個別審査を願い出ること。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は平成30年6月28日(木)に本人宛発送する。

- ① 出願資格(8)による出願資格個別審査願(本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載・捺印)
- ② 履歴書(本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載・捺印)
- ③ 修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があることを示す資料
 - (a) 履歴に短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の学歴を有する者
これらについての卒業又は修了証明書(今年度中に卒業又は修了する見込みの者については、その証明書)、学業成績証明書及びシラバス(授業要目)
 - (b) 履歴に技術的・専門的職業についての職歴を有する者
その期間及び職務内容を明記した在職証明書
 - (c) 履歴に研究歴を有する者
研究歴証明書(本冊子とじ込みの用紙に、所属の長等が証明したもの)
研究実績調査(本冊子とじ込みの用紙に、本人が記載)
研究成果報告書(本冊子とじ込みの用紙に、本人が4,000字程度で作成、論文形式とする)
- ④ 学術論文、著書、研究発表、特許、作品等の写し
- ⑤ その他、審査の参考となる資料(自薦、他薦による推薦書など)

3) 出願書類等

上記個別審査の結果、出願資格有と判定された者の願書受付期間及び出願書類等は、一般選抜に出願する者は2頁3及び4を、社会人特別選抜に出願する者は7頁3及び4を参照すること。

平成31年度 名古屋大学大学院工学研究科概要

大学院は学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与するとともに学術の研究者、高度の専門技術者及び教授者を養成することを目的とする。本研究科には博士前期課程及び博士後期課程をおき、その修業年限は博士前期課程は2年、博士後期課程は3年を標準とする。博士前期課程では学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養い、博士後期課程では研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度の能力及び豊かな学識を養うものである。

本研究科、各専攻の主な内容は次のとおりである。

専攻名	内 容	
有機・高分子化学専攻	有機構造化学, 有機合成化学, 有機反応化学, 触媒有機合成学, 高分子物性学, 機能高分子化学, 高分子組織化学, 超分子・高分子化学	
応用物質化学専攻	理論・計算法学, 触媒設計学, 材料設計化学, エネルギー変換化学, 構造機能化学, 機能材料化学, 機能物質工学	
生命分子工学専攻	ナノバイオ計測化学, 生体分子応用化学, 生命超分子化学, 遺伝子工学, 生物化学工学, 分子生命環境プロセス, 構造生物工学	
応用物理学専攻	物性基礎工学, 量子物性工学, 光物理工学, 数理工学, 構造物性工学, 磁性材料工学, 電子線ナノ物理工学, 生物物理工学, ナノ物性工学	
物質科学専攻	高圧力物質科学, 電子機能材料, ナノ電子デバイス工学, ナノスピン物性工学, 量子ビーム物性工学, 材料設計工学, レオロジー物理工学, ナノ顕微分光物質科学, フロンティア計算物質科学 ^b	※
材料デザイン工学専攻	計算組織学 ^{a,b} , 構造金属材料解析設計, 構造形態制御工学, ナノ構造制御学, シンクロトロン光応用工学, 環境材料工学, ナノイオニクス設計工学, 界面制御工学	※
物質プロセス工学専攻	プロセス情報工学, 化学物性応用工学, 移動現象制御工学, 結晶成長情報工学 ^b , 材料複合プロセス工学 ^a , 材料界面工学, エネルギー・環境材料創製工学, エネルギー創生・貯蔵材料工学	※
化学システム工学専攻	循環システム工学, 分離融合システム工学, 化学エネルギーシステム工学, 化学反応システム工学, 材料高温化学, システム材料加工工学, 材料電気化学, 界面・反応動力学	
電気工学専攻	大電流エネルギー工学, 電気エネルギー変換工学, 電力機器・エネルギー伝送工学, エネルギーシステム工学, プラズマエネルギー工学, 機能性・エネルギー材料工学, 核融合電磁物性工学, 宇宙電磁観測, 宇宙情報処理	
電子工学専攻	プラズマエレクトロニクス, プラズマナノプロセス科学, 先端プロセス, 知能デバイス, 機能集積デバイス, 先端デバイス, 量子光エレクトロニクス, 量子集積デバイスシステム, 光エレクトロニクス, ナノ情報デバイス ^b , ナノスピンデバイス, ナノ電子物性, ナノ電子デバイス ^b	※
情報・通信工学専攻	画像情報学, 情報ネットワーク, 先端情報環境, 無線通信システム, コンピュータ・アーキテクチャ, インテリジェントシステム, コンピュータ・インテリジェンス, 制御システム	
機械システム工学専攻	熱制御工学, 環境・エネルギー工学, 統計流体工学, バイオメカニクス, 計算力学, 機械力学, 自動車安全工学, 支援ロボティクス, 数理システム制御, 生体システム制御, モビリティシステム	
マイクロ・ナノ機械理工学専攻	マイクロ・ナノプロセス工学, 生産プロセス工学, 材料強度・評価学, ナノ計測工学, マイクロ熱流体工学, バイオロボティクス, 知能ロボット学	

航空宇宙工学専攻	流体力学，衝撃波・宇宙推進，推進エネルギーシステム工学，構造力学，生産工学，制御システム工学，航空宇宙機運動システム工学，先進複合材料，工作機械工学
エネルギー理工学専攻	エネルギー機能材料工学，エネルギーナノマテリアル科学，大規模シミュレーション，レーザー応用工学，応用核物理，エネルギー量子計測工学，エネルギー物性解析工学，エネルギー熱流体工学，核融合プラズマ電磁流体工学，量子ビーム物性工学，量子ビーム計測工学，ナノプロセス，環境機能材料工学
総合エネルギー工学専攻	核融合プラズマ物理工学，核融合物理工学，プラズマ物性工学，原子力安全工学，革新炉設計，原子炉特性測定・診断，中性子工学，放射線応用工学，核エネルギーシステム，エネルギー環境安全工学，原子力化学工学，原子力環境技術
土木工学専攻	構造工学，材料・形態学，海岸・海洋工学，流域保全学，地盤工学，国土防災安全工学，地圏環境保全学，社会基盤計画学，社会基盤設計学，社会基盤維持管理学，国際環境協力学，国土デザイン学

※a：産総研連携大学院講座を含む，b：NIMS 連携大学院講座を含む

専門科目につき所定の単位を修得し，かつ，学位論文の作成等に対する指導を受けたうえ論文を提出し学位試験に合格した者には，博士（工学）の学位を与える。